

2022年 4月分

会 計 帳 簿

支出項目		研修費				
NO	月日	内 容		支 出 額	証 明 書 類	
		品目	支出先		領収書 番 号	支払 証明書 番 号
1	4月21日	地方(自治体)議会特別セミナー受講料(今泉昌一)	自治体議会研究所 代表 高沖秀宣	7,000	1	
2	4月21日	地方(自治体)議会特別セミナー受講料(竹内博之)	自治体議会研究所 代表 高沖秀宣	7,000	2	
3						
4						
5						
6						
7						
8						
9						
10						
11						
12						
13						
14						
15						
16						
17						
18						
19						
20						
4月 小 計				14,000		

領 収 書 貼 付 用 紙

支 出 項 目	研修費	領収書番号	1

領 収 書

今泉昌一 様

金 7,000 円

上記正に領収いたしました。
ただし、「地方議会特別セミナー」受講料として。
テキスト代 2,000 円を含む。

令和 4 年 4 月 21 日

自治体議会研究所 (三重県津市白山町二本木 545)

代表 高 沖 秀 宣  印

支出目的・内容	地方 (自治体) 議会特別セミナー受講料 (今泉昌一)
備 考	

領 収 書 貼 付 用 紙

支 出 項 目	研修費	領収書番号	2

領 収 書

竹内博之 様

金 7,000 円

上記正に領収いたしました。

ただし、「自治体議会特別セミナー」受講料として。
テキスト代 2,000 円を含む。

令和 4 年 4 月 21 日

自治体議会研究所 (三重県津市白山町二本木545)

代表 高 沖 秀 宣  印

支出目的・内容	地方 (自治体) 議会特別セミナー受講料 (竹内博之)
備 考	

支出項目	調査研究費
------	-------

NO	月日	内 容		支 出 額	証 明 書 類	
		品目	支出先		領収書 番 号	支 払 証 明 書 番 号
1	5月22日	北海道函館市への行政視察旅費(今泉昌一、竹内博之、樋川篤子)3名分	有限会社アーストラベル青森	69,420	3	
2						
3						
4						
5						
6						
7						
8						
9						
10						
11						
12						
13						
14						
15						
16						
17						
18						
19						
20						
5月 小 計				69,420		

領 収 書 貼 付 用 紙

支 出 項 目	調 査 研 究 費	領 収 書 番 号	3
---------	-----------	-----------	---

領 収 証

会派 さくら未来

様



★ ￥ 69,420-

但 視察 旅費代として

令和4年 5 月 22 日 上記正に領収いたしました

内訳	税率	金額(税抜・税込)
	%	消費税額等
内訳	税率	金額(税抜・税込)
	%	消費税額等

収 入
印 紙

コクヨ ウケ-1097

〒038-3503
青森県北津軽郡鶴田町大字鶴田字早瀬168番地1
有限会社 アースト 青森
TEL 0173-22-6635
FAX 0173-22-3034 携帯

支出目的・内容	北海道函館市への行政視察旅費（今泉昌一、竹内博之、樋川篤子） 3名分
---------	---------------------------------------

備 考

5/25	鉄道賃（弘前駅～函館駅）	8,820円×3名＝26,460円
5/26	鉄道賃（函館駅～弘前駅）	8,820円×3名＝26,460円
5/25	宿泊費（函館市）	5,500円×3名＝16,500円

2022年 7月分

会 計 帳 簿

支出項目	研修費
------	-----

NO	月日	内 容		支 出 額	証明書類	
		品目	支出先		領収書 番号	支払 明細書 番号
1	7月13日	マニフェスト大賞2022キックオフ研修 会参加旅費、交通費(竹内博之)	東日本旅客鉄道株式会社	17,270	4	
2	7月14日	マニフェスト大賞2022キックオフ研修 会参加費(竹内博之)	ローカル・マニフェスト推進連盟事務 局(ローカル・マニフェスト推進連盟)	5,000	5	
3						
4						
5						
6						
7						
8						
9						
10						
11						
12						
13						
14						
15						
16						
17						
18						
19						
20						
7月 小 計				22,270		

領 収 書 貼 付 用 紙

支 出 項 目	研修費	領収書番号	4
---------	-----	-------	---

発行日 2022年07月13日08時38分
発行番号 No.E721371218568200714

えきねっと ご利用票兼領収書
下記の金額を、確かに領収しました。

東日本旅客鉄道株式会社

宛名 弘前市議会 会派さくら未来
竹内 博之 様

金額 ¥17,270(税込) クレジットカード利用(カード番号下4桁 : ■■■■)

但し きっぷのご購入代金として

きっぷの明細

予約番号 E72137

購入日 2022年07月13日

乗車日 2022年07月14日

列車名・区間 ○はやぶさ4 1号指定席(乗車券込み)

東京 → 新青森

ご利用人数 おとな1名

支出目的・内容	マニフェスト大賞2022キックオフ研修会参加旅費、交通費 (竹内博之)
	備 考

領 収 書 貼 付 用 紙

支 出 項 目	研 修 費	領 収 書 番 号	5
別紙のとおり			
支出目的・内容	マニフェスト大賞2022キックオフ研修会参加費（竹内博之）		
備 考			

**領収データ - 2022/7/14マニフェスト大賞2022キックオフ研修会 (@早稲田大学
& オンライン配信) 「ローカル・マニフェストで地域から日本を変える」**

発行日

2022年7月14日

宛名

タケウチ ヒロユキ

合計

¥5,000

但し

チケット代金

注文日

2022年7月12日

注文番号

17070609

主催者

ローカル・マニフェスト推進連盟事務局 (ローカル・マニフェスト推進連盟)

イベント名

2022/7/14マニフェスト大賞2022キックオフ研修会 (@早稲田大学 & オンライン配信) 「ローカル・マニフェストで地域から日本を変える」



印刷する

編集モード

支出項目	広報費
------	-----

NO	月日	内 容		支 出 額	証 明 書 類	
		品目	支出先		領収番号	支払明細番号
1	8月5日	広報誌製作費 デザイン・印刷費	やまと印刷株式会社	298,375	6	
2	8月5日	ポストイン代金	ワイエス(株)ミッド事業部	93,506	7	
3						
4						
5						
6						
7						
8						
9						
10						
11						
12						
13						
14						
15						
16						
17						
18						
19						
20						
8月 小 計				391,881		

領 収 書 貼 付 用 紙

支 出 項 目	広報費	領収書番号	6
---------	-----	-------	---

領 収 証

No 85822

発行日 2022 年 8 月 5 日

弘前市議会会派さくら未来 様

領 収 金 額

¥ 2 9 8 3 7 5



但さくら未来レポートVol.13印刷用紙として
上記金額正に領収いたしました。

品 代	
消費税	
入金内訳	
現金	(/)
小切手	(/)
手形	(/)
相殺	



やまと印刷株式会社

036-8061 弘前市神田4丁目4-5 (0172)34-4111代

担 当

支出目的・内容

会派広報誌製作費

備 考

請 求 書

約定・一括 No. 006876-1-A

2022年 7月 14日

〒036-8061 青森県弘前市仲田四丁目4-5

弘前市議会会派さくら未来 御中

お客様コード 600806

やまとうみ株式会社

代表取締役 松元 駿

受注番号 2203402-01/01
担当者

TEL 0172-34-4111(代表)
FAX 0172-36-3299

TEL 0172-26-0738

品 名	数 量	単 位	単 価	金 額	消費税等	摘 要
活動報告 (さくら未来レポートVol.13)	17,500	部	15 ⁵⁰	271,250	27,125	
	以下		余白			
				税抜金額計	消費税等計	御請求額
				271,250	27,125	298,375

毎度ありがとうございます。
上記の通りご請求申し上げます。

■お振込先銀行



領 収 書 貼 付 用 紙

支 出 項 目	広 報 費	領 収 書 番 号	7
---------	-------	-----------	---

領 収 証

No. 4301

会派 さくら未来 様

入 金 日			
2	2	8	5

	百万		千		円
	4	9	3	5	06

差引売掛金残高					
					40

法 人 c.		

請 求 先 c.		
2	5	123

上記の金額正に領収致しました

- 現金
 小切手
 振込
 相殺

摘要

- / チラシ配布料として
 / DM配布料として
 クリッパー 月分として



ワイエス株式会社



- 青森(営) 〒038-0042 青森市新町字福田67番地
 TEL (017) 788-4471
 弘前(営) 〒036-0233 平川市日沼富田19-7
 TEL (0172) 57-5588
 五所川原(営) 〒038-3107 つがる市柏稲盛岡本94
 TEL (0173) 26-7177



本領収証は社印及び取扱者印のないもの及び金額訂正のものは無効です

支出目的・内容	ポスティング代金
備 考	

請求書

〒 036-8207
弘前市上白銀町 1 - 1

25123-S0025 請求No. 0000107855
頁 1

会派 さくら未来

様

ワイエス株式会社ミッド事業部

〒 038-0042
青森市大字新城字福田 5 7
TEL. 017-788-4471 FAX. 017-788-4409
担当者 弘前営業所
[Redacted]

請求日 2022 年 07 月 15 日

御支払方法 *****

下記の通り御請求申し上げます。

前回御請求額	御入金額	差引繰越額	訂正額	今回御買上額	今回御請求額
0	0	0	0	¥93,506	¥93,506

日付	品名	数量/単位	単価	金額	消費税
7/15	事業所を除く全戸 チラシA3 配布	17,001 枚	5.00	85,005	8,501
			計	85,005	8,501

[Redacted] 誠に勝手ながら振込手数料はお客様のご負担でお願い致します。

弘前市議会

さくら未来レポート Vol.13

発行日 令和4年7月15日

さくら未来



会派さくら未来に新しい仲間が加わりました。
4月10日に行われた市議会議員補欠選挙で初当選した樋川あつこ議員です。

— 会派ビジョン —

- ✿ 議会全体での報告会開催
- ✿ 議会基本条例の評価検証と改善
- ✿ 議員条例提案の実現
- ✿ 事業仕訳による議員提案

✿ 合同報告会を開催します ✿

日時：7月22日(金) 18:00～

場所：弘前市総合学習センター 視聴覚室

※オンラインでの参加もできます。お問い合わせください。



弘前市議会令和四年第2回定例会



今泉昌一の一般質問

1. 商業政策について

- Q.** 本年3月に策定された「弘前市中心市街地活性化ビジョン」について、このビジョンを、今後、どのように市の商業政策に活かしていくのか？
- A.** このビジョンは、市の中心市街地の10年後20年後を見据えたビジョンであり、今年度は、策定の過程で、中心市街地活性化協議会ワーキンググループから出された案の実施に向けて、関係諸団体と意見交換を行っていく。

意見 ①ビジョンと計画の違い。

計画と違い、このビジョンには、誰が、何を、いつまでに、どのような方法で行うのか具体的なことが示されていない。また目標数値も示されていない。中心市街地の活性化に本気で取り組むのなら、できるだけ早く、具体的な計画を策定するべきである。

- Q.** 弘前市飲食店等営業時間短縮要請協力金と事業復活支援金 交付が遅いという苦情が多い。3月22日に申請した協力金は振り込まれたのが5月下旬という事業者も複数ある。その理由は？
- A.** まん延防止等重点措置適用期間が、2度に渡り延長されて、それぞれの交付に係わる事務作業が錯綜したこと、及び、書類不備や、連絡がとれない事業者もあったことも、遅くなった理由である。

意見 事業者の多くは、月末の資金需要が高く、特に小規模事業者にとっては、申請から交付まで足かけ3ヶ月というのは、生死にかかわる深刻な問題である。今後、同様の施策を考える時には、事業者の事情に配慮したスピーディーな対応を要望する。

2. 弘前市長選挙&市議会議員補欠選挙の投票率について

- Q.** 特に市長選挙においては、有力な候補が4人も出たのに、投票率は前を下回ってしまった。その結果と要因をどのように考えるか？
- A.** 前回と今回との、一番の社会的環境の違いは、コロナであることという以外は、要因として考えられない。

意見 この4年間、投票率向上に向けた新しい取り組みが行われてこなかった。従前の啓発活動に加えて、共通投票所や移動投票所等の、投票行動の利便性を高めるような、ハード面での改善も必要だと主張した。



3. 弘前さくらまつりの総括について

- Q.** 来園者数、コロナ前（289万人）と、今年（33万人）の乖離の理由は？
- A.** コロナ前までは、目視や周辺の駐車台数から判断した推計値だったが、昨年と今年は、入園時に記載してもらった用紙による実数である。

意見 適切な企画立案や効果的な広告宣伝実施のためにも、今後も実数把握に努めるべきである。

4. 弘前市民会館の指定管理者制度導入について

- Q.** 公募の範囲に、市外事業者も含めるとのことだが、3年前の議会での議決をどのように受け止めているのか？
- A.** 3年前に市外事業者を管理者とする案が否決されて以来、市の直轄で運営してきたが、やはり、民間のノウハウを活かした多彩な催事や、柔軟な市民サービスを提供するためにも、指定管理者制度を再度導入することにした。3年前の議会での議論を踏まえ、募集に際しては、「地域経済への貢献」や「地元事業者の育成」といった項目も付け加える方向で考えている。

意見 経済の地域内循環、地元文化団体の育成といった観点を議論した、3年前の議会での議決の重さを、十分に考慮してほしい。



↑今泉動画
一般質問

竹内ひろゆきの一般質問

1. 健康都市弘前市について

先月の臨時議会において健康都市弘前の実現に向けて8つの取組を公開※画像参照

- Q1.** 市民に対して行政サービスがいつ還元されたかが重要と考えます。いつまでに、何を実行するといった具体的な見通しを示すことは重要であると考えますか。

A1. 時期を示すことは重要であると考えている。

- Q2.** 子ども医療費無償化について聞いていきます。いつまでに子ども医療費無償化を実現させるのでしょうか。

「健康都市弘前」の実現に向けた取組

<p> 健康医療費の軽減 新たな健康医療制度を創出し、弘前大学CO事業体などの健康医療機関を誘致、費用と地元定額を削減し、所得向上。</p>	<p> 子ども医療費の完全無償化 幼児生までの子ども医療費を無償化（所得制限撤廃）し、申請や移住者によって子育てしやすいまちを実現。</p>	<p> 子どもからの食育、健康教育 学校現場における地産地消の食育授業（健康外食を食む）の展開や、この生涯活動体験など食育や健康教育を推進、健康意識を向上。</p>	<p> 高齢者・障害者世帯の運動促進 高齢者介護予防運動教室や障がい者の世代の運動教室を拡充し、健康アプリ等を活用し、市民の健康づくりを推進。</p>
<p> 弘前大学との連携強化 総務、教育に課長官庁を受け、弘前大学との連携強化を図る。弘前大学との連携強化を図る。弘前大学との連携強化を図る。</p>	<p> 健康づくりのまちづくり推進 「健康まちづくり推進計画」を策定し、健康まちづくりを推進する。健康まちづくりを推進する。</p>	<p> まちのいきいき創出 中心市街地で、健康促進につながるイベントを実施するほか、健康まちづくりを推進する。</p>	<p> 新型コロナウイルス対策 新型コロナウイルス感染症の拡大防止対策と健康対策を推進し、市民の安全・安心を守ることに地域経済を活性化。</p>

- A2. 可能な範囲で早い時期に実現したいと考えている。
- Q3. 財源はどの程度必要か。
- A3. 2億円の財源が追加で必要で恒久的な確保も必要。
- Q4. 国会の参考人招致で明石市長が発言しており、子どもに対する予算処置が人口減少対策にも寄与するという話だ。当市の子ども関連の基金は8億円あり、もう少し具体的に見通しを示せないか。
- A4. 決まり次第、速やかにお知らせします。

健康医療産業集積地について

Q1. いつ、どこにといった今後のスケジュールについてと個別計画策定の予定は(財源など具体的に知るための)。

A1. 計画策定についても関係団体と相談しながら進めていく。
市として重点的に取り組むべき事項である。

Q2. 決まっていないことが多い中で、「今」何をしているのか。

A2. 弘前大学からの情報収集とこれまでの企業誘致の取り組みによる情報収集を行なっている。

意見 選挙公約に掲げて、市民はその政策を基に選挙行動に繋がっていると思います。もう少し具体的な部分を期待していた。

私も自分が持ちうる情報提供などやっつけていければと思います。

地元企業にも当然メリットが生み出されるようなスキームも作っていくことも大切だと思う。

Q. ヒロロとの機能分散などについてどう考えているのか。

意見 ヒロロを子ども向け子育て世代向けの施設に特化したらいいと思う。長年の課題で子どもの室内遊び場がないということもあるので改善に繋がってほしい。

他の質問項目は以下の通りです。

詳細は動画でも公開しておりますので、ご覧いただければと思います。



↑ 竹内動画
一般質問

2, オンラインを活用した行政運営について

3, 市民生活及び地域経済におけるインフレ物価高対応について

樋川篤子の一般質問

1, 教育現場でのICT活用状況について

Q. 学校教育現場でのタブレットの活用状況について

現在、弘前市の小中学校で、1人1台配布されているタブレット端末の、活用状況とおよびICT支援員を6名から12名に増員したことによる効果は？

A. 学校現場では、現在、授業でタブレットを利用した資料作りや教員と児童生徒間における課題や資料のやりとりなど、教育活動での端末の活用場面が顕著となっている。また、支援員を増員し、月3回1日7時間派遣し、支援内容を毎月教育委員会に報告することで、今後の効果的な活用への工夫改善を図っている。

Q. 「[弘前式] ICT3点セット(実物投影機・プロジェクター・教員用パソコン)」が、令和元年度に、全学級に配備されているが、有効に活用されているのか？

A. プロジェクターは学級に備え付けとなっており、すぐに使える状態である。かなりの割合で、実物投影機、タブレットの画像を映すといった活用がなされている。

Q. 学校現場の教職員の負担軽減のために、保護者用のスマホに、欠席連絡用アプリの導入を積極的に検討してはどうか。

A. 欠席連絡アプリでは本人確認が難しいということ、保護者全員が、アプリをインストールできるスマホを所持しているかどうか把握できていないという課題はあるが、今後も石川中学校などの例を参考に、連絡用アプリの導入についてさらに研究を進めていきたい。

課題 現状のものを無理やりすべてをデジタル化する、ということではなく、働く環境、学ぶ環境を改善していく、ということを重視し、できるところから、検討するだけではなく、実行していただきたい、という趣旨の理解を、今後も引き続き求めていく。

2, 市立病院閉院と弘前総合医療センターについて

Q. 弘前市立病院から、弘前総合医療センターへの患者の引継ぎはスムーズに行われたのか？

A. 市立病院では、すべての方々がスムーズに次の医療機関を受診することができるよう、紹介状の作成や、予約が必要な医療機関への予約連絡、紹介先の医療機関への受診方法、受診の際に必要な書類の説明など、丁寧に対応した。

課題 どの病院に行っていかわからない、と不安に感じるかたが、今後また出てくるかもしれないので、問い合わせ窓口があるのであれば、わかりやすく周知を図ってほしい。また引き続き、広報やホームページなどで、「地域医療支援病院」としての役割の周知も図っていただくよう求めた。



↑ 樋川動画
一般質問

5月9日開催の 「弥生の森づくり」を考える自然観察会に 会派で参加。

弥生いこいの広場に隣接する約26haの土地は、30年前にスキー場建設、続く大型児童館計画のいずれもが頓挫したあと、市が約6億円もの巨費を投じて買い取った。しかし、その後、ほとんど活用されていない。

山肌を剥ぎ取られた後に、様々な動植物が再生している様子を見ることのできるこの森を、市民の森として活かすことができず、会派で観察会に参加した。



7月4日 青森市立青森東中学校における GIGAスクール実践事例を視察 (青森市議会議員の仲介により実現)

青森東中学校は、ICT教育指定校として、約3年前からICT端末を活用した授業に取り組んでいる。昨年までの経験から、紙に文字を書く学習の重要性も認識し、今年度からはICT端末と紙のノートを併用したハイブリット式の授業を行っている。生徒と教師の共に学び合う教育現場を視察してきた。



今泉 昌一

連絡先：
090-6687-5200



竹内 博之

連絡先：
090-5835-6364



樋川 篤子

連絡先：
090-5180-0786



会派さくら未来レポートのバックナンバーについては、お問い合わせください。

2022年 10月分

会 計 帳 簿

支出項目		広報費				
NO	月日	内 容		支 出 額	証 明 書 類	
		品目	支出先		領収書 番 号	支 払 証 明 書 番 号
1	10月25日	広報誌製作費 デザイン・印刷費	やまと印刷株式会社	298,375	8	
2	10月25日	ポストイン代金	ワイエス(株)ミッド事業部	94,023	9	
3						
4						
5						
6						
7						
8						
9						
10						
11						
12						
13						
14						
15						
16						
17						
18						
19						
20						
10月 小 計				392,398		

領 収 書 貼 付 用 紙

支 出 項 目	広 報 費	領 収 書 番 号	8
---------	-------	-----------	---

領 収 証

No 86162

発行日 2022 年 10 月 25 日

弘前市議会会派さくら様 様

領 収 金 額

¥ 2 9 8 3 7 5



但さくら様レポートVol.14 印刷代として
上記金額正に領収いたしました。

品 代	
消費税	
入 金 内 訳	現 金
	小 切 手 (/)
	手 形 (/)
	相 殺

担 当



やまと印刷株式会社



036-8061 弘前市神田4丁目4-5 (0172)34-4111(代)

支出目的・内容

会派広報誌製作費

備 考

請 求 書

約定・一括 No. 008319-1-A

2022年 10月 13日

〒036-8061 青森県弘前市神田四丁目4-5

弘前市議会会派さくら未来 御中

お客様コード 600806

やまと印刷株式会社
代表取締役 三秋 元 駿

受注番号 2204995-01/01
担当者

TEL 0172-34-4111(代表)
FAX 0172-36-3299

TEL 0172-26-0738

品 名	数 量	単 位	単 価	金 額	消費税等	摘 要
活動報告 (さくら未来レポートVol.14)	17,500	部	15 ⁵⁰	271,250	27,125	
	以下		余 白			
				税抜金額計	消費税等計	御請求額
				271,250	27,125	298,375

毎度ありがとうございます。
上記の通りご請求申し上げます。

■お振込先銀行

領 収 書 貼 付 用 紙

支出項目	広報費	領収書番号	9
------	-----	-------	---

領 収 証

No. 4312

会派 さくら未来 様

入金日			
2	2	1	0
2	5		

	百万			千			円
		7	9	4	0	2	3

差引売掛金残高					
					10

法人c.			

請求先c.			
2	5	1	2
3			

上記の金額正に領収致しました

- 現金
 小切手
 振込
 相殺

摘要

- 10/14 チラシ配布料として
 / DM配布料として
 クリッパー 月分として



ワイエス株式会社 ミッド事業部

- 青森(営) 〒038-0042 青森市新城字篠田57番地
 TEL (017) 788-4471
 弘前(営) 〒036-0233 平川市日沼富田19-7
 TEL (0172) 57-5588
 五所川原(営) 〒038-3107 つがる市柏稲盛岡本94
 TEL (0173) 26-7177



本領収証は社印及び取扱者印のないもの及び金額訂正のものは無効です

支出目的・内容	ポスティング代金
備 考	

請求書

〒 036-8207
弘前市上白銀町 1 - 1

25123-S0025 請求No. 0000112583

頁 1

会派 さくら未来

様

ワイエス株式会社ミッド事業部



〒 038-0042

青森市大字新城字福田 5 7

TEL. 017-788-4471 FAX. 017-788-4409

担当者 弘前営業所

請求日 2022 年 10 月 14 日

御支払方法 *****

下記の通り御請求申し上げます。

前回御請求額	御入金額	差引繰越額	訂正額	今回御買上額	今回御請求額
0	0	0	0	¥94,023	¥94,023

日付	品名	数量/単位	単価	金額	消費税
10/14	事業所を除く全戸 チラシA3 配布	17,095 枚	5.00	85,475	8,548
			計	85,475	8,548

誠に勝手ながら振込手数料はお客様のご負担でお願い致します。

弘前市議会

さくら未来レポート Vol.14

発行日 令和4年10月14日

さくら未来



会派プラス無所属成田議員と先進地視察に行ってきました。「戸田市教育改革」について

— 会派ビジョン —

- ✿ 議会全体での報告会開催
- ✿ 議会基本条例の評価検証と改善
- ✿ 議員条例提案の実現
- ✿ 事業仕訳による議員提案

✿ 合同報告会を開催します ✿

日時：10月26日(水) 18:30～

場所：弘前市総合学習センター

※オンラインでの参加もできます。お問い合わせください。

弘前市議会令和四年第3回定例会

今泉昌一の一般質問

1. 児童の放課後の居場所について

- Q. 和徳町児童館、進修児童館を閉鎖して、和徳小学校内の放課後健全育成事業(なかよし会)に移行する理由について問う。
- A. 両施設とも老朽化が進み、早急に機能移転が必要。また、児童の移動時の安全を考えて、学校内に設置することが望ましいと判断した。



Point 単純に子どもの居場所が変わるという問題だけでない。児童館となかよし会では、①利用できる子どもの条件、②保護者の経済的負担、③地域との係わり等、大きな違いがある。それらについて、保護者や地域の声を真摯に聞いて、しっかり準備を進めて欲しい。

2. 子どもの歯の健康について

- Q. 青森県の子どもの虫歯が多いというデータがあるが、弘前ではどうか？ また、子どもの虫歯予防にフッ化物洗口が効果的だと聞いたが、市の考えは？
- A. 令和2年度の虫歯有病率は、小学校では、全国平均40.2%に対して弘前が47.6%、中学校では全国平均が32.2%に対し弘前は45.0%となっている。今年度から、モデル校で、フッ化物洗口を、先行的に実施する。

Point モデル校とは大和沢小学校で1校である。フッ化物洗口を、仮に市内全校で実施した場合に、初年度で約240万円の費用がかかる。一方、10歳から14歳までの児童生徒の虫歯の数が1本減れば、年間の医療費は一人あたり4256円削減する。これを単純に全児童生徒数に掛け合わせれば、年間4256万円の医療費削減につながる。そのことを考えれば、早く、市内全校での実施を行って欲しい。(フッ化物洗口を行っている三沢市は、三市と比べ、虫歯の有病率が低い)

3. 中学部活の地域移行について

- Q. 令和5年度から土日祝日の、部活の地域移行に取り組まなければならないが、弘前市の準備状況は？
- A. 来年4月から段階的に移行できるよう、関連団体の実務者レベルの検討委員会や作業部会を組織し検討をしている。
- Point** 生徒の移動、指導者の確保、保護者の負担等、具体的な事項についても、まだ検討中とのこと。準備が遅れているのではないかと指摘した。

4. 学校司書について

- Q. 1年間が経過して、その効果と評価は？
- A. 学校図書館の環境整備、児童生徒の読書活動の推進、教員の負担軽減等で、大きな効果があった。また蔵書の授業での利活用も積極的に行われている。

図書利用者数 岩木小学校 4月251人 → 11月820人
第一中学校 4月298人 → 10月548人

Point 良い効果が生まれているので、是非これからも続けて欲しい。また、司書の待遇改善や、図書室へのエアコン設置も検討してもらいたい。

竹内ひろゆきの一般質問

1. 財政運営について

今回は特に子ども予算の確保、拡充の観点から質問。人口減少問題と真っ向から向き合うためには、子どもにかかる予算を確保、拡充することが最重要と考えている。

- Q. これまでの子ども予算の推移は？
- A. 令和元年度約76億円で全体予算に占める割合は10%→令和4年度約81億円で割合は10.4%。子どもの数は約7%減少しているが、予算確保している。来年度からの子ども医療費完全無償化で更にサービスが拡充される。



2. 子育てしやすい弘前実現に向けて多子世帯支援策と双子世帯の現状などについて。

子育て世代からは、もう1人子どもが欲しいが経済的理由の不安からなかなか踏み出せないという声や、現在3人以上の子どもを抱えている世帯では経済的な将来不安等があると言った声を受けています。

- Q. 多子世帯や双子世帯における市の課題認識とそういった世帯に対してどのような支援策を講じているのか伺います。
- A. 多子世帯は1539世帯、双子世帯は5世帯。保育料軽減や学校給食費の補助など、年間約14万円程度の経済的負担に繋がっている。養育支援訪問事業による負担軽減策を講じている。

3. 石川地域の活性化と大仏公園の在り方について

Q. 持続可能性を高めていくためにどうしていくのが望ましいのか？

A. 人材確保や資金調達などの相談体制を整備し、団体の想いに賛同し協働で事業実施できるよう働き掛けを行うなど支援体制を強化していく。

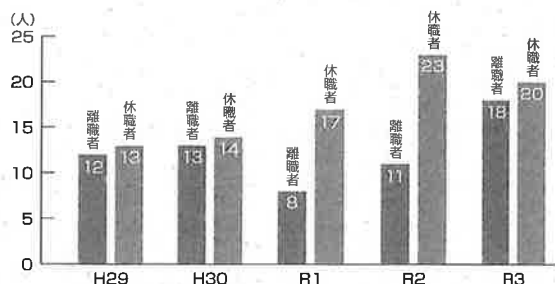
4. 弘前市役所の離職率等の職場環境について

新型コロナの影響により学校現場での不登校の増加、民間企業においては新型コロナの影響でメンタルヘルス上の問題が生じ、休職や離職につながっていると聞いている。

Q. 弘前市における現在の職場環境と、過去5年間の離職と休職の状況について

A. 離職者12人、13人、8人、11人、18人 転職が最も多く、次に健康上の理由など

休職者13人、14人、17人、23人、20人 と増加傾向にある。



5. 駅前広場・山道町樋之口線街路整備事業に伴う控訴の提起等について

今回の議案については非常に判断が難しいと考えている。

両者の主張や裁判での争点が見えない中で、安易に議決することはできないし、議員、議会としての説明責任にも限界があると考えます。

Q. これまで弘前市が訴えられたケースや市が控訴した事例等について

A. 過去に弘前市が訴えられたケースは34件。控訴等の議決が必要なケースは3件。

Q. 手続き上議決が必要ということだが、それが提案理由になるのであれば議会に対して乱暴だと考える。新聞紙上のコメントにも判決文を見て控訴等の判断を決めるとあった。市として判断出来かねない状況で議会に議決を求めるのは矛盾していないか？

A. 市は被告であり、相手側に対して市の主張をしっかりとる為のもの。三審制の中で司法が判断するための準備として提案している。

樋川篤子の一般質問

教育行政について

Q. 全国学力・学習状況調査等の結果について、弘前市教育委員会では、過去5年ほどの全国を比較した青森県の学力調査結果について、また子どもたちの「学力」について、どのように捉えているか？

A. 学力テストの青森県の正答率は、小5、中2とも、全ての教科で全国平均と同程度かまたは上回っており、概ね良好な状況である。最近までは、学力というと、「知識・技能」とされていたが、これに加え、学ぶ意欲や、自分で課題を見つけ、自ら学び、主体的に判断し、行動し、よりよく問題を解決する資質や能力等までを含めたもの、と捉え、子どもたちが主体的に深い学びを通して確かな学力を身に付けるため、引き続き教員に対する研修会を充実させ、各学校への構内研修の支援を進めている。

課題 総合的な学習がどのように学力テストの結果に現れたかを、今後も議会において聞いていく予定。

Q. ICT教育の効果について一人一台のタブレット端末や、弘前式ICT3点セットをより効果的に活用するための、各教科での利用状況など、具体的な取り組みについて

A. 各学校で、多様な教育活動において「『弘前式』ICT3点セット」や一人一台端末をそれぞれの良さを生かして効果的に活用する教員が増えている。教育委員会としては、研修の充実や、各学校の効果的な実践例を紹介するなどして、児童生徒の学びが更に深まるよう、ICT機器の活用の推進に取り組んでいく。

Q. 弘前市で、不登校の児童生徒に対して設けているフレンドシップルームの支援方針について

A. 弘前市のフレンドシップルームの通室率は、全国平均1割に対して3割と高く、不登校傾向ある児童生徒に対して、教育相談や教科の学習、創作活動、軽スポーツなどを通して集団生活への復帰に向けた支援を行っている。

課題 コロナ禍で、メンタル面での不調を訴え、不登校傾向になる児童生徒が増えている。今後、通室者が増えた場合にも、運営方針を保護者の方に丁寧に伝えながら、寄り添う形で支援を続けていくことが大切である。

弘前総合医療センターについて

Q. 今現在、駐車場が未舗装の状態で、雨の日は足元が非常に悪く、晴れている日はホコリが舞い上がるという、通院する患者にとって不便な状況にある中、駐車場の整備が当初予定の12月までに終わらないという話も聞こえてきている。今後の工事の見通しは？

A. 新中核病院の整備事業は、現在の敷地内で診療を継続しながら建て替えを行っている。予算や敷地面積が限られている中で、最大限駐車場を確保しながら工事を進めていることから、利用者には通行の不便などが生じていることは認識している。工期について、工事の途中で土壌汚染が見つかり、その処理に時間を要したことから、予定より工事が遅れている。

12月の完了予定に変更があった場合は報告いただくことになっている。

他、新型コロナウイルス感染拡大の中での弘前市の医療体制についても質問した。

会派さくら未来として 今定例会の議案第111号に反対したため、 理由を説明します。

※議案第111号は駅前広場・山道町樋の口町、線街路整備事業に伴う控訴の提起等についてであり、市の主張が認められず、相手方の請求が容認された場合に、控訴の提起等しようとするもの。

1. 賛否を判断するための材料を示されていないこと。
2. 採決の時点では、まだ準備書面のやりとりも終わっていなかったこと。
3. 判決が出てから、その内容を見てから議論すべきだと考えること。

以上のことから、時期尚早と考え、反対しました。

定例議会会期外であれば、臨時議会を招集してでも、議会ですっきりと議論すべきだと考えます。

弘南鉄道大鰐線中央弘前駅前の広場整備を巡り弘前市内の不動産会社が市に損害賠償を求めた訴訟に関して、市議会は22日、市の主張が認められなかった場合は控訴する一と市の方針を了承した。同日の市議会本会議で、関連議案を賛成多数で可決した。

訴訟の原告はスコレ（大中廣社長）。駅前広場の計画が縮小されたため、近くにある同市土手町の商業施設「ルネスアリー」の運営に支障が出たとして、約2億4500万円を賠償を求め昨年8月に青森地裁弘前支部に提訴し

た。市は11月12日に判決が出るとみており、判決次第で速やかに控訴できるような議会の議決を求めている。

22日の採決では、会派「さくら未来」（所属議員3人）が議案に反対したほか、無所属の工藤光志、成田大介両議員が退席。他の議員は賛成した。同会派の今泉昌一代表は議会後の取材に「市の主張だけ聞いて承認するわけにはいかない」と反対理由を語った。工藤、成田両議員は「賛否を判断するには議論が不足している」と語った。

中央弘前駅前広場訴訟 「市側敗訴で控訴」了承 市議会

東奥日報 2022年4月22日より引用

先進地視察に行ってきました。 10月2日～4日

- ・埼玉県戸田市 「教育改革について」 ※戸ヶ崎勤教育庁によるレクチャーをしていただきました。
- ・埼玉県白岡市 「部活動の地域移行について」
- ・千葉県木更津市 「地域通貨(アクアコイン)について」



○部活動時に配慮すべきこと



AQUACOIN

今泉 昌一
連絡先：
090-6687-5200

竹内 博之
連絡先：
090-5835-6364

樋川 篤子
連絡先：
090-5180-0786

会派さくら未来レポートのバックナンバーについては、お問い合わせください。

支出項目		研修費				
NO	月日	内 容		支 出 額	証 明 書 類	
		品目	支出先		領収書 番 号	支 払 証 明 書 番 号
1	11月19日	学生と弘前市議会議員との対話集会 会場費(旧弘前借行社)	学校法人弘前厚生学院	20,000	10	
2	11月24日	学生と弘前市議会議員との対話集会 講師謝礼代	青森大学教授 佐藤淳	14,366	11	
3	11月24日	学生と弘前市議会議員との対話集会 源泉徴収税額	弘前税務署	1,634	12	
4						
5						
6						
7						
8						
9						
10						
11						
12						
13						
14						
15						
16						
17						
18						
19						
20						
11月 小 計				36,000		

領 収 書 貼 付 用 紙

支 出 項 目	研修費	領収書番号	10
---------	-----	-------	----

第 50 号

発行日: 2022年11月19日

領収書

弘前市議会 会派さくら未来 様

¥20,000

但し、2022年11月19日 旧弘前偕行社 会場使用料として

上記正に領収いたしました。

学校法人 弘前厚生学院 収益事業

理事長 西谷 洸

青森県弘前市御幸町8-10

支出目的・内容	学生と弘前市議会議員との対話集会 (旧弘前偕行社にて) 会場費
備 考	

借用（使用）申請者

団体名 弘前市議会 会派さくら未来 様

代表者氏名 今泉 昌一 様

住所 弘前市徳田町15-1

電話番号 [REDACTED]

学校法人 弘前厚生学院 収益事業

理事長 西谷 洸

使用許可書

下記のとおり、旧弘前偕行社の使用を許可します。

1. 借用日時

2022年11月19日(土) 午後1時～午後3時

2. 借用目的

議員と学生の意見交換会

3. 利用人数

30人

4. 使用する居室及び備品

会場

備品：椅子・テーブル・音響機器

5. 使用料

20,000円

【施設借用の条件等】

- ・借用（使用）者は、公序良俗に反するような目的や活動には使用しないことを誓約する。
- ・借用（使用）者は、施設及び備品等を損壊しないよう注意して取り扱うものとする。
- ・借用（使用）者の実施する催事等にあたっては、事故等が発生しないように配慮する。
- ・借用（使用）者の実施する催事等にあたっては、旧弘前偕行社の運営に支障が無いように配慮する。
- ・借用（使用）者は、使用权の全部又は一部を転貸はできないものとする。
- ・借用（使用）者は、請求金額を借用7日間前までに支払うものとする。
- ・旧弘前偕行社の館長は、借用（使用）者が借用条件等に違反する行為があった場合には、直ちに使用を解約又は中止させることができる。

領 収 書 貼 付 用 紙

支 出 項 目	研修費	領収書番号	11
---------	-----	-------	----

領 収 書

弘前市議会 会派さくら未来 御中

No.

発行日 2022年 11月 24日

金額 ¥14,366 (税込)

但 講師謝礼代として

上記正に領収いたしました。



内 訳	
税抜金額	16,000
消費税等	1,634

青森大学教授 佐藤 洋

TEL: [Redacted]

支出目的・内容	学生と弘前市議会議員との対話集会 (旧弘前偕行社にて) 講師謝礼代
備 考	

弘前市議会
会派 さくら未来 宛

4 年 11 月 19 日



講師等出演依頼承諾書

弘前市議会 会派 さくら未来

一般社団法人弘前青... 所よりの講演等の依頼につきまして、下記及び裏面記載の各条項を了知の上、承諾いたします。

記

事業名称 「学都弘前として学生の声を議会で受け止めるためには」研修会
実施日 2022年 11月 19日(土)
時間 13:00 ~ 15:00 (120分間)
場所 旧弘前借行社

テーマ[10年後の弘前市の未来を共に考えよう]

出演者と契約者(本承諾者)との関係 本人・契約者に所属する者・契約者から出演委託を受けた者

講演等の形式 ① 講演 2. 対談 3. パネルディスカッション 4. その他()
契約の種類別 1. 個人契約

謝礼金等内訳

i. 謝礼金(消費税込支払金額)	16,000 円
(うち消費税)	1,454 円)
(源泉所得税)	1,634 円 ※1)
差引手取支給額	14,366 円

ii. 交通費 ① 謝礼に含む 2. 謝礼に含まない ※2) 3. 掛からない
iii. 宿泊費 1. 謝礼に含む 2. 謝礼に含まない ※2) ③ 掛からない

※1 個人契約の場合は原則として源泉所得税が適用となり、税金は差引きの上、弘前青年会... 納付します。
※2 講師の交通費、宿泊費を上記謝礼に含まない場合で本会計から交通費、宿泊費金を支出... は、必要な費用を、別途事務局までご連絡ください。

支払総額

14,366 円(源泉所得税を除く謝礼+実費立替)

お支払口座

■金融機関名 _____

■支店名 _____

■普通・当座 ■口座番号 _____

■口座名義人 _____

■口座名義大フリガナ _____

支払予定日 4 年 11 月 24 日 受領

出演者(契約者)

住所

署名捺印

佐藤 淳

領 収 書 貼 付 用 紙

支出項目	研修費	領収書番号	12
------	-----	-------	----

税金 納金 金 理 資 金
 32319
 令和 年度
 弘前 税務署
 00040258
 110
 領 収 証 書

区	分	コード	区	分	コード	区	分	コード	区	分
1	5	07	31	41						
原料料、著作権の使用料、放送料 金等※ 外交員等の報酬・料金※ 映画、演劇の俳優等の報酬・料金※			芸能人の役務の提供を内容とする 事業を行う個人の報酬・料金 ホステス等の報酬・料金 役務提供についての契約金			広告宣伝のための賞金 公的年金等			その他の区分及び※印のあるもの については「領収証書」の裏面を 参照してください。	

住所 (所在地) (電話番号) 72-35-1121
 弘前市三軒町4-1
 氏名 弘前市議会 未来 様(御中)
 国庫金
 徴収義務者
 摘要

本税	延滞税	合計額
----	-----	-----

◎日本銀行(本店・支店・代理店・歳入代理店(郵便局を含む。))又は税務署の領収年月日及び領収者名が表示されているかお確かめください。

納期等の区分
 令和 年 月
 4 11
 支払分源泉所得税
 及び復興特別所得税

証券受領
 内証券 円



支出目的・内容	学生と弘前市議会議員との対話集会 (旧弘前借行社にて) 源泉徴収税額
備考	

支出項目	要請・陳情活動費
------	----------

NO	月日	内 容		支 出 額	証 明 書 類	
		品目	支出先		領収書 番号	支払 証明書 番号
1	12月12日	防衛省要望活動交通費及び宿泊代	有限会社アーストラベル青森	45,960	13	
2	12月13日	防衛省要望活動宿泊代	ザ ロイヤルパークキャンパス銀座8	6,000	14	
3						
4						
5						
6						
7						
8						
9						
10						
11						
12						
13						
14						
15						
16						
17						
18						
19						
20						
12 月 小 計				51,960		

領 収 書 貼 付 用 紙

支 出 項 目	要 請 ・ 陳 情 活 動 費	領 収 書 番 号	13
---------	-----------------	-----------	----

領 収 証

会派さくら会 今泉昌一

様



★ ￥ 45,960 ~

但

交通費&宿泊代として

令和4年 12月12日 上記正に領収いたしました

内訳

税率	金額(税抜・税込)
%	消費税額等
税率	金額(税抜・税込)
%	消費税額等

収 入
印 紙

コクヨ ウケ-1097

〒038-3503

青森県北津軽郡鶴田町大字鶴田字手綱16番地1

有限会社 アースト

TEL 0173-22-6635

FAX 0173-22-3034

担当

携帯




支出目的・内容

12/14木村次郎防衛大臣政務官への要望活動、12/15防衛省勉強会
旅費(今泉昌一)

備 考

12/13、12/15 交通費(弘前駅~東京駅~弘前駅) 33,460円
12/14 宿泊費(東京) 12,500円

領 収 書 貼 付 用 紙

支 出 項 目	要 請 ・ 陳 情 活 動 費	領 収 書 番 号	14
<div style="text-align: center;">  <p>領 収 書</p> <p>会派さくら未来 今泉 昌一様</p> <p>領収金額 ¥6,000</p> <hr/> <p>(内消費税等 ¥545) 現金にて領収いたしました。</p> <p>ザ ロイヤルパークキャンパス 銀座8 TEL:03-6205-8010 FAX:03-6205-8011 〒104-0061 東京都中央区銀座八丁目9番4号</p> <div style="border: 1px solid black; padding: 5px; width: fit-content; margin: 10px auto;"> <p>印紙税申告納 付につき京橋 税務署承認済</p> </div> <p>取引番号:008001P121315305 2022/12/13 18:45</p> <hr/> <p>お部屋番号: 307 お名前 : 今泉 昌一様 ご人数 : 1 宿泊期間 : 2022/12/13 - 2022/12/14</p> </div>			
支出目的・内容	12/14木村次郎防衛大臣政務官への要望活動、12/15防衛省勉強会 宿泊費 (今泉昌一)		
備 考			
12/13 宿泊費 (東京) 6,000円			

支出項目		広報費				
NO	月日	内 容		支 出 額	証 明 書 類	
		品目	支出先		領収書 番 号	支 払 証 明 書 番 号
1	1月19日	広報誌製作費 デザイン・印刷費	やまと印刷株式会社	298,375	15	
2	1月19日	ポスティング代金	ワイエス(株)ミッド事業部	93,786	16	
3						
4						
5						
6						
7						
8						
9						
10						
11						
12						
13						
14						
15						
16						
17						
18						
19						
20						
1月 小 計				392,161		

領 収 書 貼 付 用 紙

支 出 項 目	広 報 費	領 収 書 番 号	15
---------	-------	-----------	----

領 収 証

No 86191

発行日 2023 年 1 月 19 日

弘前市議会会派さくら様

領 収 金 額

¥ 2 9 8 3 7 5



但さくら様レポート Vol.15印刷代として
上記金額正に領収いたしました。

品 代	
消費税	
入 金 内 訳	現 金
	小切手 (/)
	手 形 (/)
	相 殺



やまと印刷株式会社

036-8061 弘前市神田4丁目4-5 (0172)34-4111代



担 当

支出目的・内容	会派広報誌製作費
---------	----------

備 考

--

請 求 書

約定・一括 No. 009845-1-A

〒036-8061 青森県弘前市神田四丁目4-5

やま 印刷株式会社

代表取締役 秋元 駿

TEL 0172-34-1111(代表)

FAX 0172-36-3299

2023年 1月 11日

弘前市議会会派さくら未来 御中

お客様コード 600806

受注番号 2206620-01/01
担 当 者

品 名	数 量	単 位	単 価	金 額	消費税等	摘 要
活動報告 (さくら未来レポートVol.15)	17,500	部	15 50	271,250	27,125	
	以 下		余 白			

毎度ありがとうございます。
上記の通りご請求申し上げます。

■お振込先銀行

[Redacted Bank Information]

税抜金額計

271,250

消費税等計

27,125

御請求額

298,375

領 収 書 貼 付 用 紙

支 出 項 目	広報費	領収書番号	16
---------	-----	-------	----

領 収 証

No. 4332

会派 さくら未来 様

入 金 日			
2	3	1	19

百万		千		円
	7	93	786	

差引売掛金残高				
				70

法 人 c.			

請 求 先 c.			
			25123

上記の金額正に領収致しました

- 現金 小切手 振込 相殺

摘要

- 1/13 チラシ配布料として
 / DM配布料として
 クリッパー 月分として



ワイエス株式会社 営業部

- 青森(営) 〒038-0042 青森市新城字福田57番地
 TEL (0173) 788-4471
 弘前(営) 〒036-0233 平川市日沼富田19-7
 TEL (0172) 57-5588
 五所川原(営) 〒038-3107 つがる市柏稲盛岡本94
 TEL (0173) 26-7177

取 扱

本領収証は社印及び取扱者印のないもの及び金額訂正のものは無効です

支出目的・内容	ポスティング代金
備 考	

請 求 書

〒 036-8207
弘前市上白銀町 1 - 1

25123-S0025 請求No. 0000117456
頁 1

会派 さくら未来

様

ワイエス株式会社ミッド事業部



〒 038-0042
青森市大字新城字福田 5 7
TEL. 017-788-4471 FAX. 017-788-4409
担当者 弘前営業所

請求日 2023 年 01 月 13 日

御支払方法 *****

下記の通り御請求申し上げます。

前回御請求額	御入金額	差引繰越額	訂正額	今回御買上額	今回御請求額
0	0	0	0	¥93,786	¥93,786

日付	品 名	数量/単位	単 価	金 額	消費税
1/13	事業所を除く全戸 チラシA 3 配布	17,052 枚	5.00 計	85,260 85,260	8,526 8,526

誠に勝手ながら振込手数料はお客様のご負担でお願い致します。

弘前市議会

さくら未来レポート Vol.15

発行日 令和5年1月13日

さくら未来



冬の岩木山

※会派メンバーでの写真撮影が間に合わず、今回は岩木山の写真となりました。

— 会派ビジョン —

- ❁ 議会全体での報告会開催
- ❁ 議会基本条例の評価検証と改善
- ❁ 議員条例提案の実現
- ❁ 事業仕訳による議員提案

❁ 合同報告会を開催します ❁

日時：1月27日(金) 18:30～

場所：弘前市総合学習センター

※オンラインでの参加もできます。お問い合わせください。



令和4年第4回定例会一般質問



今泉昌一の一般質問

1. 弘前市民会館の指定管理について

Q. 来年度からの市民会館指定管理者案として、3年前に議会が否決したものと全く同じ案が提案されたが、議会の議決をどのように考慮したのか？

A. 3年前に議会で否決された理由に「経済の地域内循環の観点」ということがあったので、今回は、選定基準の中に「地域経済の活性化・雇用の確保」という項目も新たに設けた。

Point 「地域経済の活性化・雇用」という項目への配点は、100点満点中わずか5点である。本来の指定管理者制度の主旨に照らせば、もっと高くなければならない。また、目先ではなく、将来を見据えた視点では、市民会館クラスのホテルの管理運営ができる地元の事業者を育てることが、真の意味での地域経済の活性化ではないかと考える。

2. 地域交通政策について

Q. 弘南鉄道大鰐線について、令和5年度末の実績をみてその後の支援策を見直すとしているが、存廃も含めた見直しか、それとも継続を前提とした見直しか？

A. 鉄道は、他市町村と弘前を結ぶ幹線であり、市民の足としても観光資源としても貴重な施設だ。これからも、国・県に支援を要請しながら、大鰐線の維持・活性化に向けて取り組んでいきたい。

Point ノスタルジーやレトロ志向といった感情論に基づいた、税金による赤字補填は望ましくない。一民間企業の経営と捉え、毎年収益が悪化している現状にもっと厳しい目を向けなければならない。「選択と集中」という言葉があるが、限られた経営資源を、公共交通のどの部門に当ててゆくのか、真剣に考える必要がある。

3. 文化財の保存について

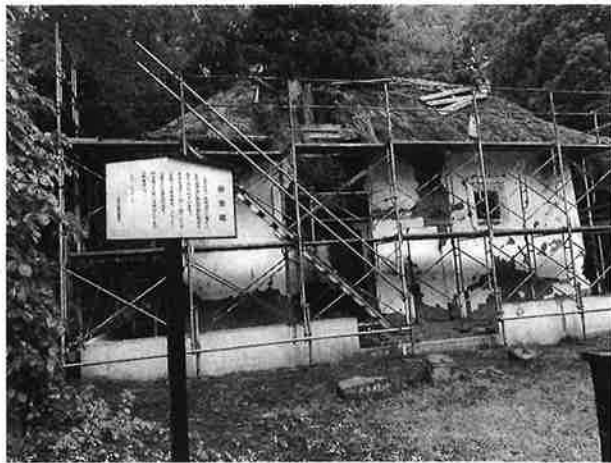
Q. 市指定文化財の修復に要する費用のうち、個人所有の場合、所有者の負担割合はいくらか？

A. 通常は5割だが、災害等による被害の場合は、3割である。

Q. 所有者が、経済負担が大きすぎる、あるいはその他の理由によって、市に、寄贈を申し出た場合、それは受けることができるのか？

A. これまでも、いくつか例があるが、個々に、損壊の状態や、その価値を見極め個々に判断する。

Point 文化財は、造られた時代の街の様子や人々の暮らしを推し量ることの出来る貴重な財産であり、長い間それを守り継いできた歴史を物語る資料でもある。是非、最善を尽くして保存に努めてもらいたい。



・昨冬の豪雪で崩落した「市指定文化財高照神社御宝蔵」

4. 美術品・工芸品の寄贈について

Q. 寄贈の申し出に対する市の対応は？

A. 個々に、学芸員が実物を見て判断する。現在は、収納スペースに限りもあることから、弘前藩の歴史に関するものや、世界的に有名な作家の作等を主に受け入れている。

Point 貴重な美術品や工芸品を失わないためにも、収納スペースの確保にも努めてもらいたい。

樋川あつこの一般質問

●教育行政について

Q. 1人1台ICT端末の活用状況と、オンライン授業の可能性は？

A. 不登校傾向にある児童生徒や、病気や入院のために学校の授業を受けられない生徒に対しては、希望に応じてICTを活用した学習支援を進めている。学校が児童生徒及び保護者と十分に話し合いを行ったうえで、学校と家庭を端末でつなぎ、課題のやりとりをしたり、授業の配信を行ったりすることも可能としている。

Point 「学校のほうでも、オンライン授業の環境を整えていこうという姿勢はあるが、対面授業を重視し、様々な理由で学校を休んでいる生徒さんに対しては、課題の配布や電話連絡をとり、個に応じた丁寧な対応をするよう指示していく」という教育委員会の方針が、学校教育現場にきちんと伝わり、実行されるようお願いした。

●健康都市弘前について

Q. 弘前大学と市により立ち上げた「まちかつ弘前3C(キューブシー)」について

A. これまでの健康づくりのまちなか拠点整備、弘前大学との連携の強化に加え、「健康都市弘前」の実現のために市民団体なども参加できる柔軟性のある組織として、「まちかつ弘前3C」を8月に立ち上げた。定期的に懇談を行う中で、様々なアイデアが生まれ、さらに大きな取り組みへとつながるよう、発展させていく。

Q. 10月19日～12月18日の期間で開催されているアプリ「スポビー」によるウォーキングイベントの進捗状況と、実感している効果は？

A. 12月5日時点での利用者数は、10代～20代282名、30代～50代585名、60代以上123名。市民一人あたりの平均歩数は、プラス1200歩と、当初目標のプラス1000歩を上回っている。幅広い世代の方々が利用しており、市民の健康意識向上に寄与しているものと考えている。

その他の質問 「不登校児童生徒への対応について」



竹内博之の一般質問

●投票率向上策の取組状況と、2023年統一地方選挙に向けた取組について

Q. 選挙管理委員会としての現状の選挙に対する課題認識はどのようなものか？

A. 低投票率が大きな課題認識。様々な要因はあるが、大きいものとして政治への無関心や投票所の配置などが考えられる。

Q. 課題認識に対して改善するための既成事実の一つとして、「投票所の雰囲気改善」ができないものかと考えている。そこで、市の選挙管理委員会として投票所の雰囲気明るくすることや子育てしている人が入りやすいようにしてはどうか。例えば音楽をかけてみるなど、一歩踏み出してみないか？

A. 音楽をかけることについての法的制限はない。他自治体の事例として歌詞のない音楽をかけることはある。財政的な新たな負担があるわけでもないが、全ての投票所で機材を準備することは難しいが、「まずはやってみたい」と考えている。

Point 単純に音楽をかけてほしいという意図ではない。組織としていんな議論や多角的なリスク分析を行い、大きな一歩ではなく小さな一歩を踏み出してほしいという組織改革としての意味を込めている。

意見提案 2011年総務省で公表している報告書では子どもの段階からの主権者教育が大切だとある。弘前市は過去に北辰中学校で模擬選挙の実績もある。ぜひ、弘前独自の取組として子ども議会や主権者教育の取組を期待している。また、投票所の利便性向上という意味で大学での投票所の設置も過去にやれていたことなので、実現をお願いしたい。



●今冬の雪対策について

Q. これまでも除雪困難者支援について度々取り上げて参りました。3年間の実証実験的位置付けで進めていた事業であるが、現在どのような検証、整理を行ったのか。

A. 地域関係者のアンケートでは間口除雪に関して87%が「満足、妥当である」という結果であり、除雪を担う事業者アンケートでは「良い取組ではあるが不安定要素がある」が36.9%で一般除雪への支障が出る、また今後の高齢化に伴う作業の増加や作業員の確保に不安があるという結果であり、継続は困難である。

Q. 人口減少や高齢化の進展は3年前も5年前も計画段階で予見できたのではないかと考える。やれないことに対して批判しても生産性のある議論とは言えないので、次の質問として、市はこの実証実験で何を学んだのか？

A. 除雪困難者の条件となる「定義」を位置づけることになったのではないかと考えている。

意見 私もニーズ把握と定義づけができたのではないかと考えている。

Q. マッチング制度自体に異論はないが、除雪困難者の大半は高齢の方々だと考える。高齢のニーズが多い中で、どうやってマッチングまで結びつけるのか。簡単にはいかないのでは

意見提案 今冬の雪対策の目玉はマッチングサイトの紹介ではないはず。どうやったら快適な冬を過ごせるかが目的だと思う。あくまでマッチングは手段でしかない。行政として今後必要なのはシーズ(業者以外の除雪支援をできる担い手)を把握することだと思う。地域の中の担い手になる資産を掘り起こすことが大切だと思う。必要な情報を市民に示していくことがマッチングの促進につながると思う。

その他

③ふるさと納税について

④生活保護の扶養照会について

※詳細は動画でご覧いただければと思います。



今泉昌一



樋川あつこ



竹内博之

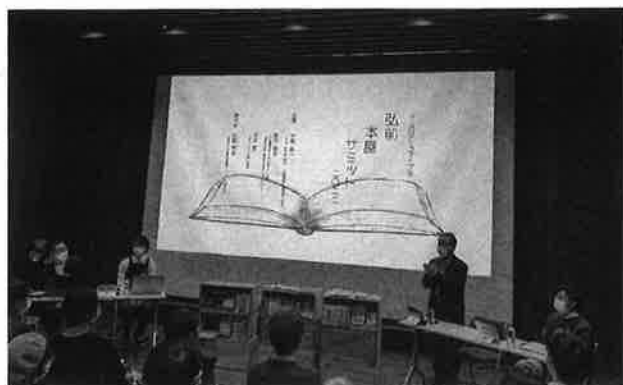


各議員の活動報告等



「ひろさき本屋サミット2022」に今泉がゲスト出演

11月27日(日)、ひろさきレンガ倉庫美術館にて行われた「ひろさき本屋サミット2022」に今泉がゲスト出演しました。弘前の本屋の歴史から、あまり知られていない書店業界の日常(裏側)など本屋と街の関わり方など語り合いました。



「学生と弘前市議会議員による10年後の未来ワーク」を実施しました。



11月19日(土)、旧弘前借行社において市内に通う高校生、大学生計18名と弘前市議会議員8名が参加し青森大学の佐藤淳教授を講師にワークショップを行いました。

学生からは「弘前に眠っているシーズ、大学機関、人材に着目して弘前と世界に係る事業展開をしたい」といった未来志向の前向きな意見が沢山出ました。政治はこういった市民の意思を現実化させることが求められていると思います。

日本一の政策コンテストである「第17回マニフェスト大賞」に竹内が参加

当日、司会も務めながら、全国の先進事例を学んできました。

*第17回マニフェスト大賞の優秀賞には弘前大学の蒔田先生が受賞(アニメ動画を用いた小学生段階からの主権者教育の実践とその効果検証)。竹内も青森県内で唯一、議員として北海道東北ブロックの「エリア表彰」を受賞(前回選挙時のマニフェスト中間評価・検証)。



今泉 昌一

連絡先：
090-6687-5200



竹内 博之

連絡先：
090-5835-6364



樋川 篤子

連絡先：
090-5180-0786



会派さくら未来レポートのバックナンバーについては、お問い合わせください。

支出項目	広報費
------	-----

NO	月日	内 容		支 出 額	証明書類	
		品目	支出先		領収書 番 号	支 払 証明書 番 号
1	3月22日	広報誌製作費 デザイン・印刷費	やまと印刷株式会社	286,110	17	
2	3月22日	ポスティング代金	ワイエス(株)ミッド事業部	82,264	18	
3						
4						
5						
6						
7						
8						
9						
10						
11						
12						
13						
14						
15						
16						
17						
18						
19						
20						
3月 小 計				368,374		

領 収 書 貼 付 用 紙

支 出 項 目	広報費	領収書番号	17
---------	-----	-------	----

領 収 証 No 86799

発行日 2023 年 3 月 22 日

弘前市議会会派さくら未来 様

領収金額 ￥ 2 8 6 1 1 0



品代	
消費税	
入金内訳	現金 <input checked="" type="checkbox"/>
	小切手
	手形 (/)
	相殺

但さくら未来レポートVol.16印刷代として
上記金額正に領収いたしました。



やまと印刷株式会社
〒036-8061 弘前市神田4丁目
TEL (0172) 34-4111代
登録番号 T1-4200-0100-9567



担当

支出目的・内容	会派広報誌製作費
---------	----------

備 考

請 求 書

約定・一括 No. 010903-1-A

〒036-8061 東京都品川区神田四丁目4-5

やまと印刷株式会社

代表取締役 三秋 元 駿 一

TEL 0172-34-1111 (代表)

FAX 0172-36-3299

2023年 3月 14日

弘前市議会会派さくら未来 様

お客様コード 600806

受注番号 2301067-01/01
担当者

TEL 0172-26-0738

品 名	数 量	単 位	単 価	金 額	消費税等	摘 要
活動報告 (さくら未来レポートVol.16)	15,300	部	17	260,100	26,010	
■	以 下		余 白	■		
				税抜金額計	消費税等計	御請求額
				260,100	26,010	286,110

毎度ありがとうございます。
上記の通りご請求申し上げます。

■お振込先銀行



領 収 書 貼 付 用 紙

支 出 項 目	広 報 費	領 収 書 番 号	18

領 収 証

No. 000155

会派 さくら未来 様

入 金 日			
5	3	3	2

百万		千		円
	7	8	2	2
			6	4

上記の金額正に領収致しました

現金 小切手 振込 相殺

摘要 チラシ配布料として DM宅配料として クリッパー掲載料として



ワイエス株式会社 ミッド事業部

- 青森(営) 〒038-0042 青森市新城字福田57番地 TEL (017) 788-4471
- 弘前(営) 〒036-0233 平川市日沼富田19-7 TEL (0172) 57-5588
- 五所川原(営) 〒038-3107 つがる市柏稻盛岡本94 TEL (0173) 26-7177

取 扱



本領収証は社印及び取扱者印のないもの及び金額訂正のものは無効です

支出目的・内容	ポスティング代金
備 考	

請求書

〒 036-8207
弘前市上白銀町 1 - 1

会派 さくら未来

様

25123-S0025 請求No. 0000120706 S
頁 1



ワイエス株式会社 青森事業部

〒 038-0042
青森市大字新城字福田 5 7
TEL. 017-788-4471 FAX. 017-788-4409
担当者 弘前営業所

請求日 2023 年 03 月 14 日

御支払方法 *****

下記の通り御請求申し上げます。

前回御請求額	御入金額	差引繰越額	訂正額	今回御買上額	今回御請求額
0	0	0	0	¥82,264	¥82,264

日付	品名	数量/単位	単価	金額	消費税
3/14	事業所を除く全戸 チラシA 3 配布	14,957 枚	5.00	74,785	7,479
			計	74,785	7,479

誠に勝手ながら振込手数料はお客様のご負担でお願い致します。

弘前市議会

さくら未来レポート Vol.16

発行日 令和5年3月9日

さくら未来



— 会派ビジョン —

- ✿ 議会全体での報告会開催
- ✿ 議会基本条例の評価検証と改善
- ✿ 議員条例提案の実現
- ✿ 事業仕訳による議員提案

✿ 任期最後の合同報告会を開催します ✿

日時：3月24日(金) 18:00～

場所：弘前市総合学習センター

※オンラインでの参加もできます。お問い合わせください。

会派さくら未来の4年の歩み

弘前市市議会有志による勉強会を開催



現青森大学教授の佐藤淳氏を講師に、議長はじめ10名の有志で議会改革について学びを深めました。



弘前市民会館指定管理者選定において会派さくら未来は反対しました。

反対理由～竹内博之反対討論の内容全文

3つの点で、理事者側の提案内容に納得することができませんでした。

1点目、指定管理者制度の方針変更の妥当性です。理事者側の説明では、方針を変え得る十分な条件とは言いがたいように考えます。

2点目、公平公正かつ適正な審査ができ得る状態ではなかったのではないかと考えます。弘前市民会館の指定管理者選定期間において、現受託事業者には貸し館業務に係る疑義の調査が行われておりました。調査対象施設は弘前文化センターであり、所管は市民生活部文化スポーツ課です。本議案の所管も文化スポーツ課であり、審査の根幹となる小委員会も同様の所管です。同様の所管課において疑義の調査が行われている期間に指定管理者の審査も行われているという状況は、公平公正かつ適正な審査状況とは到底言いがたいものだと考えます。

3点目、地元で管理運営可能な事業者がいるにもかかわらず市外事業者へ門戸を広げることは、地域内経済循環の観点から到底容認できないものと考えます。行政は弘前市民の公益性を最重要に考えなければいけないはずであり、今回の議案を容認するとこれからの指定管理者制度における地域内経済循環の観点に影響が出ると考え、以上3点の観点から、本議案に対して反対するものであります。

コロナ対策に関しての会派さくら未来plus1の動き

- 3月5日 ZOOMによる意見交換会
学校一斉休校による問題点
- 4月10日 ZOOMによる意見交換会
コロナ時代の学校現場の声
- 4月17日 ZOOMによる意見交換会
商工業界へのコロナの影響

- 6月5日 ZOOMによる意見交換会
大学生の実情について
- 6月8日 飲食店経営者との意見交換会



ZOOMによる意見交換会の様子

議員有志による勉強会を行いました。

「地域スポーツに関する」勉強会を総合型スポーツクラブ「スポネット弘前」代表の鹿内葵さんを講師に行いました。





意見交換会を行いました。

弘前市内でクラスター発生前後の影響について現場の生の声、実情を聞くべく意見交換会を行いました。 ※感染予防対策実施の上

- 11月21日(土)母子会関係者の方との子どもたちの生活環境や学習環境、コロナの影響についての意見交換会
 - 12月1日(火)弘前市の医療体制、医療現場の状況について市内開業医師との意見交換会
- ※意見交換の内容は一般質問や委員会質疑などで反映しています。

11/21

12/1

市長提出議案を否決しました。

人事案件に関する会派コメントは以下のとおりです。

「さくら未来」は、議場に残り、反対の意を示しました。

理由は

- ①行政の事務処理ミスが頻繁に起こっている中で、市長与党を標榜する会派から監査委員を出すことは、監査の中立性・公正性に問題があること。
- ②そもそも、議会及び議員には監査権があるのだから、議会選出の監査委員の必要性を感じられず、むしろ、財政・組織運営等に高い見識を持つ専門家が監査委員につくべきと考えること。

市長の言うような「会派のいざこざ」では決してありません。



↑ 本件に関する今泉ブログ

市長「会派のいざこざ」

弘前市議会(定数28欠員)は6月定例会最終日の20日、監査委員の選任案を否決し、市長は「会派間のポスト争いが原因だ」との見解を示し「議会の品位に関わる」と批判。反対した議員は「最近の市政に問題があった」と説明した。

市長は与党系「会派」の市議を監査委員に選び同意を求めたが、櫻井会と多数の7議員が所属する「創和会」が採決時に退席。そのため賛否同数となり、議長採決で人事案は否決された。

弘前市 監査委員選任案 否決

議員「市政問題が原因」

河北新報 2021年6月30日より引用

コロナ対策／食で応援学生支援アップルパイ配布事業について

会派さくら未来では、令和3年度一般会計補正予算案に対して、付帯決議案を提出しました。

●一連の時系列等詳細

- ①コロナ対策、学生の食支援事業として補正予算案が議会に提出。
- ②補正予算案について、会派+無所属議員との審査過程において、本質的な支援事業ではないのではないかと問題提起が生まれる。
- ③事業対象者である学生等に緊急WEBアンケートを実施(2週間のアンケート実施により5大学153名が回答)。
 - 60%以上の学生が「食」の支援であれば、別の食材等がありたいと回答。
 - 81人の学生が米やレトルト食品、長期保存のきく食材が望ましいと回答。
 - 市が提案しているアップルパイ配布事業は、学生の実態とかけ離れていると判断。

●有識者のコメント

早稲田大学マニフェスト研究所 招聘研究員 佐藤 淳 氏

行政の政策立案過程(議案の一般質問にもありがち)において、課題設定が、職員の机上の良かれと思った妄想や、少数市民のエピソードトークが起点になる場合が往々にある。また事業の打ち手も、先進事例への盲目的な飛びつきや、思い込みによる決め打ちになってしまうケースも見受けられる。また、その流れの中で、手段が目的化してしまう。

まずはエビデンスに基づき、打ち手のオプションを漏れなくピックアップして議論する。一事業の問題ではなく、市役所組織の政策サイクルの問題として大局的な議論が重要。

会派さくら未来では、大学生に緊急WEBアンケートを実施、実際に学生に会い、生の声を集め、エビデンスベースで、かつ大局的な視点で議論をしてくれたと思います。

結果、さくら未来の主張は多くの賛同を得られませんでした。弘前市議会初の委員会での付帯決議案提出になり、議会改革的には大きな前進になったと思います。

●付帯決議とは

予算との関係等から、内容によっては議会の修正権に制約があることもあって、修正が困難なときに用いられるもの。付託案件が可決した後でただちに提出する。

今回の場合は、コロナ対策として学生に支援を行なう予算を可決した上で、その内容を、アップルパイではなく主食とするべきだという、付帯決議案を提出した。提出者(会派さくら未来2名と、無所属議員2名)以外の賛同を得られず、本案は否決された。

市内学生にアップルパイ配布 補正予算案 常任委可決
見直し付帯決議は否決 弘前市議会

弘前市議会予算常任委員会は14日、市内学生にアップルパイを配布する事業費を含む2021年度一般会計補正予算案を可決した。新型コロナウイルス禍での食の支援策として市長が提案したアップルパイを、一部委員は「アップルパイではなく米などの主食を配るよう求める付帯決議案を提出したが、賛成少数で否決された。」

議員全員が所属する同委で付帯決議案を提出したの

は、会派さくら未来の今泉昌一、竹内博之、無所属の石岡千鶴子、成田大介の4委員。学生の食を支援すること自体に異論はないとして予算案に賛成した上で、付帯決議案を提出した。今泉委員は議場で「アップルパイや仕送りが減り、生活費に困っている学生がいる状況を見かね、主食を支援するべきだ」と趣意を説明。決議案の採決では、4委員以外に賛成者はいなかった。

「学生と弘前市議会議員による10年後の未来ワーク」を実施しました。



11月19日(土)、旧弘前借行社において市内に通う高校生、大学生計18名と弘前市議会議員8名が参加し青森大学の佐藤淳教授を講師にワークショップを行いました。

学生からは「弘前に眠っているシーズ、大学機関、人材に着目して弘前と世界に係る事業展開をしたい」といった未来志向の前向きな意見が沢山出ました。政治はこういった市民の意思を現実化させることが求められていると思います。

陸奥新報 2021年9月15日より引用

会派「さくら未来」活動の記録

2019年

- 4月 弘前市議会議員選挙 今泉・竹内当選
- 7月 議員有志勉強会
(議会基本条例の検証について)
- 7月 会派議会報告会
- 8月 就労継続支援B型事業所施設見学
- 9月 会派+無所属議員決算勉強会
- 10月 会派+無所属議員合同議会報告会
メディア掲載
- 11月 議員有志勉強会(主権者教育について)
- 12月 ヤングフォーラム2019に参加

2020年

- 1月 弘前大学蒔田ゼミで授業
- 1月 会派議会報告会
- 3月 ZOOMによる意見交換会
(学校一斉休校の問題点)
- 3月 コロナ対策に関する議員全員
協議会開催の申し入れ
- 4月 ZOOMによる意見交換会
(学校現場の声)
- 4月 ZOOMによる意見交換会
(商工業界へのコロナの影響)
- 4月 会派勉強会「弘前における医療現場の課題」
- 6月 ねぶた自主運行について
運行団体代表との意見交換会
- 6月 ZOOMによる意見交換会
(大学生の実情について)
- 6月 コロナの影響について
飲食店経営者との意見交換会
- 7月 会派+無所属合同議会報告会
- 8月 議会基本条例検証会議
- 8月 ふるさと納税プロポーザルについての調査
- 8月 議員有志勉強会(地域スポーツの課題)
- 11月 母子寡婦福祉会役員との意見交換会
- 12月 会派+無所属合同議会報告会

2021年

- 1月 共同親権についての調査
- 3月 大学生との意見交換会
- 4月 会派+無所属合同議会報告会
- 5月 弘前大学蒔田先生の授業へリモート参加
- 7月 母子寡婦福祉会役員との意見交換会
- 7月 市長選挙へ向けた「会派ビジョン」策定会議
- 7月 会派+無所属合同議会報告会
- 8月 立地適正化計画勉強会
- 8月 県母子寡婦福祉会役員との意見交換会
- 8月 母子寡婦福祉会「サタデイクラブ」に参加
- 10月 Voters Cafe(若い世代との意見交換会)
- 11月 会派議会報告会

2022年

- 2月 市長選挙立候補予定者3人と政策協議
- 4月 弘前市議会議員補欠選挙で樋川議員当選
樋川議員が新たに仲間に加わりました。



教育関連の質問を積極的に毎回実施してきました。

- 5月 弘前学院大学で講義
- 7月 青森市小学校 GIGA スクール視察
- 7月 会派議会報告会
- 9月 弘前大学蒔田教室フィールドワーク協力
- 10月 会派議会報告会

2023年

- 1月 会派議会報告会
- 2月 弘前雪灯籠祭り大雪像作り見学

今泉 昌一

連絡先：
090-6687-5200



竹内 博之

連絡先：
090-5835-6364



樋川 篤子

連絡先：
090-5180-0786



会派さくら未来レポートのバックナンバーについては、お問い合わせください。